

# EPOC2

## —オンライン臨床教育評価システム— 導入にあたって

関西医科大学  
卒後臨床研修センター  
(2020/06/01)

# 目次

- ▶ はじめに
- ▶ 到達目標について
- ▶ 評価項目の達成指針
- ▶ EPOC2とは？
- ▶ EPOC2ログインまでの方法
- ▶ EPOC2に入力する事項【研修医】
- ▶ EPOC2に入力する事項【指導医】
- ▶ 操作の詳細について(別マニュアル紹介)

# はじめに

厚生労働省により初期研修制度が見直され、2020年度採用研修医より、到達目標が改訂されました。

研修評価や修了の要件も大幅に変更されており、それに合わせる形で研修評価システムもこの度アップデートされる運びとなりました。

それが「オンライン臨床教育評価システム」、通称「EPOC2」です。

当センターでは、この研修評価を2017年度よりオンラインシステムに切り替えておりますが、こちらは旧版の「EPOC」と呼ばれるものです。

これより説明させていただく、「EPOC2」とは評価項目から運用まで全くの別物ですので、予めご承知おきください。

(※なお2020年度に限っては、2年次生は従来の「EPOC」、1年次生は「EPOC2」と異なる二つのシステムが併存しての運用となっている点、ご注意ください。)

初期研修における到達目標、および達成度評価をご確認のうえ、EPOC2システムへの入力をよろしくお願い致します。

# 到達目標について

- ▶ 2年間の初期研修中に、下記項目の研修をした／させた場合は、その都度EPOC2に記録することが必要です。
- ▶ ①②については、2年間の研修期間中に全て経験する事が必須です。
- ▶ ③については、EPOC2上に記録のうえ、研修医の診療能力の評価を行ってください。

## ■経験項目（全3項目）

### ①経験すべき症候 -29症候-

ショック、体重減少・るい瘦、発疹、黄疸、発熱、もの忘れ、頭痛、めまい、意識障害・失神、けいれん発作、視力障害、胸痛、心停止、呼吸困難、吐血・咯血、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便通異常（下痢・便秘）、熱傷・外傷、腰・背部痛、関節痛、運動麻痺・筋力低下、排尿障害（尿失禁・排尿困難）、興奮・せん妄、抑うつ、成長・発達の障害、妊娠・出産、終末期の症候

### ②経験すべき疾病・病態 -26疾病・病態-

脳血管障害、認知症、急性冠症候群、心不全、大動脈瘤、高血圧、肺癌、肺炎、急性上気道炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、急性胃腸炎、胃癌、消化性潰瘍、肝炎・肝硬変、胆石症、大腸癌、腎盂腎炎、尿路結石、腎不全、高エネルギー外傷・骨折、糖尿病、脂質異常症、うつ病、統合失調症、依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）

### ③経験すべき診察法・検査・手技等

- ・医療面接
- ・身体診察
- ・臨床推論
- ・臨床手技
- ・検査手技
- ・地域包括ケア、社会的視点
- ・診療録

# 到達目標について

- ▶ 2020年度からの初期研修制度では、下記3つの項目全てで一定レベル以上に至っていないと、研修を修了することができません。各指導医による、2年間の研修評価の最高値「レベル3」以上が、修了要件に該当します。
- ▶ 次頁で評価項目の達成指針について、記載しております。合わせてご確認ください。

## ■評価項目（全3項目）

### I. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）に関する評価

- ①社会的使命と公衆衛生の寄与
- ②利他的な態度
- ③人間性の尊重
- ④自らを高める姿勢

### II. 資質・能力に関する評価

- ①医学・医療における倫理性
- ②医学知識と問題対応能力
- ③診療技能と患者ケア
- ④コミュニケーション能力
- ⑤チーム医療の実践
- ⑥医療の質と安全管理
- ⑦社会における医療の実践
- ⑧科学的探究
- ⑨生涯にわたって共に学ぶ姿勢

### III. 基本的診療業務に関する評価

- ①一般外来診療
- ②病棟診療
- ③初期救急対応
- ④地域医療

# 評価項目の達成指針

評価表 I :

医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)に関する評価

①社会的使命と公衆衛生の寄与

②利他的な態度

③人間性の尊重

④自らを高める姿勢

## ◆何を評価するのか

到達目標における医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）4項目について評価する。研修医の日々の診療実践を観察して、医師としての行動基盤となる価値観などを評価する。

具体的には医師の社会的使命を理解した上で医療提供をしているのか（①）、患者の価値観に十分配慮して診療を行っているのか（②、③）、医療の専門家として生涯にわたって自己研鑽していく能力を身につけているのか（④）などについて多角的に評価する。

## ◆評価のタイミング

研修分野・診療科のローテーション終了時ごとに評価する。必修診療科だけでなく、選択診療科でも行う。

指導医が立ち会うとは限らない場面で観察される行動や能力も評価対象となっていることから、指導医のみならず、研修医を取り巻く他の医師、さまざまな医療スタッフが評価者となることが望ましい。結果は研修管理委員会で共有されなくてはならない。

また、ある研修分野・診療科から次の研修分野・診療科へ移る際には、指導医間、指導者間で評価結果を共有し、改善につなげる。

## ◆記載の実際

観察期間は評価者が当該研修医に関与し始めた日から関与を終えた日までとし、記載日は実際に評価票を記載した日付とする。観察期間の最終日からできるだけ短期間で評価票を記載することが望ましい。

指導医あるいは指導者としての関与の仕方によっては研修医を観察する機会がない項目もあり、そのような場合には観察機会なしのボックスにチェックする。

期待されるレベルとは、当該研修医の評価を行った時点で期待されるレベルではなく、研修を修了した研修医に到達してほしいレベルを意味している。そのため、研修途中の診療科では期待通りのレベルに到達していないことが少なくないと思われるが、研修修了時点で期待通りのレベルにまで到達するよう指導する必要がある。

評価者によって期待される到達度の解釈が少々異なる可能性もあるが、個々の評価者の判断に任せてよい。そのような場合でも、評価者が多ければ全体としての評価の信頼性、妥当性を確保できるので、可能な限り多くの評価者に記載してもらおう。

また、評価の参考となった印象的なエピソードがあれば、その良し悪しにかかわらず、自由記載欄に記載する。特に「期待を大きく下回る」と評価した場合には、その評価の根拠となったエピソードを必ず記載する。

# 評価項目の達成指針

## 評価表Ⅱ：資質・能力に関する評価

- ①医学・医療における倫理性
- ②医学知識と問題対応能力
- ③診療技能と患者ケア
- ④コミュニケーション能力
- ⑤チーム医療の実践
- ⑥医療の質と安全管理
- ⑦社会における医療の実践
- ⑧科学的探究
- ⑨生涯にわたって共に学ぶ姿勢

### ◆何を評価するのか

研修医が研修修了時に修得すべき包括的な資質・能力 9 項目（32 下位項目）について評価する。研修医は日々の診療実践を通して、段階的に医師としての資質・能力を修得していく。

また、項目の内容によっては、それまでにローテーションした分野・診療科が異なれば、到達度が異なる可能性が高い。

分野・診療科の特性上、評価しやすい項目とそうでない項目があることも予測される。研修医の日々の診療活動をできる限り注意深く観察して、臨床研修中に身に付けるべき医師としての包括的な資質・能力の達成度を継続的に評価する。



## ◆評価のタイミング

研修分野・診療科のローテーション終了時ごとに、指導医だけでなく、研修医に関わる様々な医療スタッフが異なった観点で評価し、分野・診療科毎の最終評価の材料として用いる。結果は研修管理委員会で共有されなくてはならない。

また、現研修診療科から次の研修診療科へ移る際に指導医間、指導者間で評価結果が共有され、改善を目指して有効活用されることが望ましい。

## ◆記載の実際

観察期間は評価者が関与し始めた日から関与を終えた日を記載し、記載日は実際に評価票を記載した日付とする。観察期間の最終日からできるだけ短期間で評価票を記載することが望ましい。

評価票のレベルは4段階に分かれており、

レベル1：医学部卒業時に修得しているレベル

(医学教育モデル・コア・カリキュラムに規定されているレベル)

レベル2：研修の中途時点

(1年間終了時点で習得されているべきレベル)

レベル3：研修終了時点で到達すべきレベル

レベル4：他者のモデルになり得るレベル

9つの項目について包括的にレベルをチェックする構成となっているが、項目によっては2つのレベルの間という評価もありうるため、隣接するレベルの間にチェックボックスが設けられている。

また、評価にあたって、複数の下位項目間で評価レベルが異なる可能性がある場合は、それらを含めた評価としてチェックボックスのいずれかをチェックし、研修医にはどの下位項目がどのレベルに到達しているのかを具体的にフィードバックする。

研修終了時には、すべての大項目でレベル3以上に到達できるように指導する。また、「研修分野・診療科によっては観察する機会がない項目もあると考えられ」、その場合にはチェックボックス「観察する機会が無かった」にチェックする。

また、研修医へのフィードバックに有用と考えられるエピソードやレベル判定に強く影響を与えたエピソードがあれば、その内容をコメント欄に記載する。

# 評価項目の達成指針

## 評価表Ⅲ：基本的診療業務に関する評価

- ①一般外来診療
- ②病棟診療
- ③初期救急対応
- ④地域医療

### ◆何を評価するのか

研修修了時に身に付けておくべき4つの診療場面（一般外来診療、病棟診療、初期救急対応、地域医療）における診療能力の有無について、研修医の日々の診療行動を観察して評価する。

### ◆評価のタイミング

基本的診療業務として規定されている一般外来研修、病棟研修、救急研修、地域医療研修について、それぞれの当該診療現場での評価は当然として、その他の研修分野・診療科のローテーションにおいても、本評価票（研修評価票Ⅲ）を用いて評価する。

指導医に加えて、さまざまな医療スタッフが異なった観点から評価し、最終評価の評価材料として用いる。結果は研修管理委員会で共有されなくてはならない。

また、研修分野・診療科を移動する際、指導医間、指導者間で評価結果が共有され、継続性をもって改善につながるよう有効活用されることが望ましい。

## ◆記載の実際

観察期間は、評価者が関与し始めた日から関与を終えた日までとし、記載日は実際に評価票を記載した日付とする。観察期間の最終日からできるだけ短期間で評価票を記載することが望ましい。

評価票のレベルは4段階に分かれており、各基本的診療業務について、各レベルは下記のように想定している。

レベル1：指導医の直接監督下で遂行可能

レベル2：指導医がすぐに対応できる状況下で遂行可能

レベル3：ほぼ単独で遂行可能

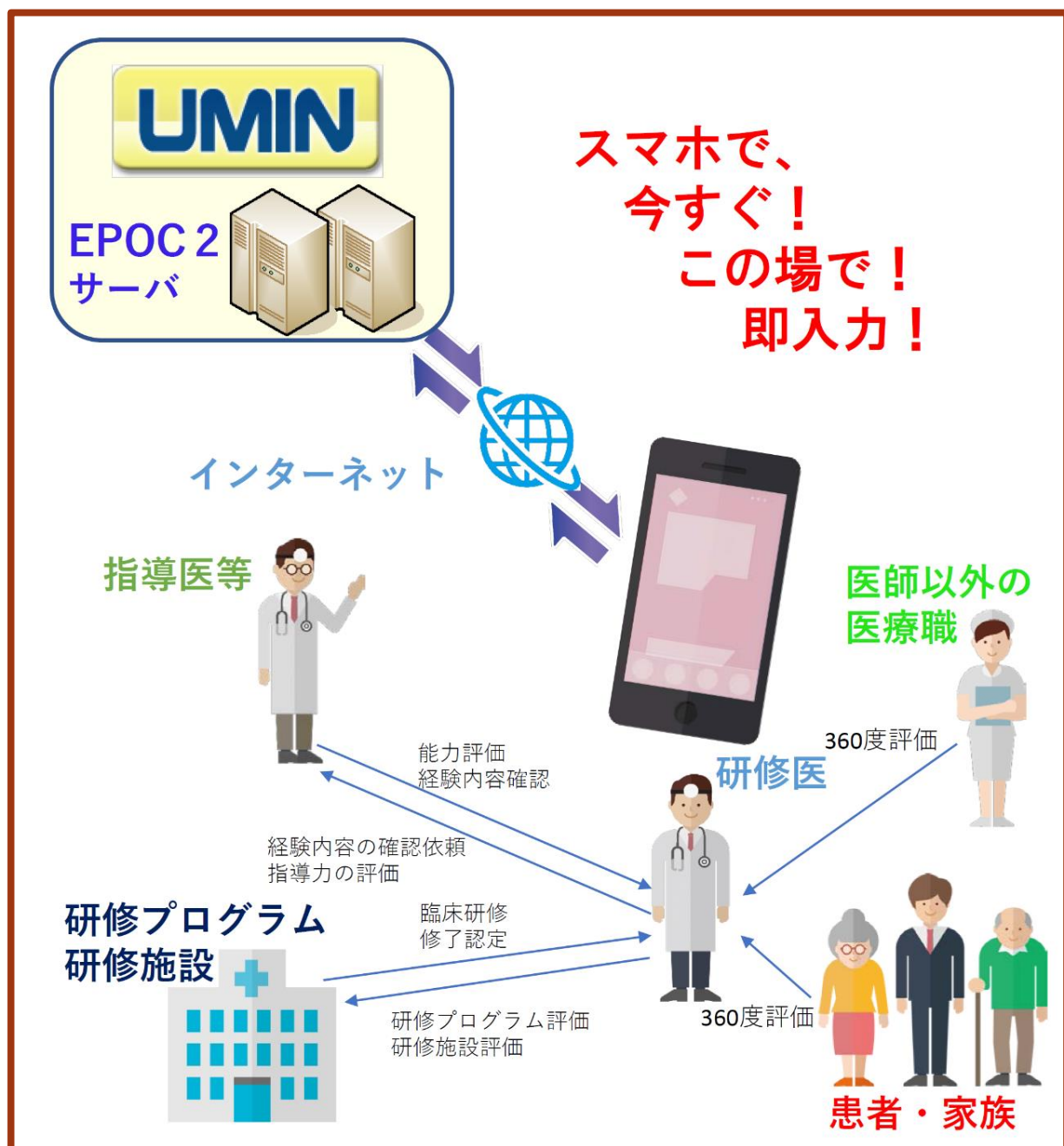
レベル4：後進を指導できる

研修修了時には4診療場面すべてについて、レベル3以上に到達できるよう指導を行う。

実際には診療場面の様々な要因（患者背景、疾患など）によって達成の難易度が変わるため、一様に判定することは必ずしも容易ではない。できる限り、複数の観察機会を見出し、評価を行い、評価に影響したエピソードがあれば自由記載欄に記載する。そうすることによって、評価の妥当性を高めることができる。

# EPOC2とは？

- ▶ 正式名称は「E-Portfolio of Clinical training」で、オンライン臨床教育評価システムと称されます。
- ▶ 厚労省施行通知に準拠した、卒後臨床研修評価システムです。
- ▶ 研修履歴、コメディカル評価、指導医間の申し送り等をオンラインで管理します。



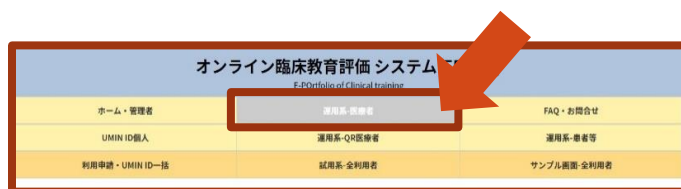
# EPOC2ログインまでの方法

①インターネット接続状態で検索ブラウザを起動し、「EPOC2」と検索し、トップの「オンライン臨床教育評価システム(EPOC2)」をクリックする。

(右図はGoogle上で検索した状態のもの)



②トップ画面上部の「**運用系-医療者**」タブを押し、研修医は「研修医ログイン」を、指導医は「指導医ログイン」を押して、ログイン画面に進む。



③ログイン画面で「UMIN ID」と「パスワード」を入力して、ログインする。  
(右図は研修医のログイン画面のもの)

※IDを取得していない場合、ログインできない場合は、次頁をご参照ください。



# EPOC2ログインまでの方法

## ▶ UMIN IDを取得されていない方は…

下記URLより、新規取得申請を行ってください。

◆URL… <https://www.umin.ac.jp/id/uminid/privacy.htm?type=1>

※指導医の先生におかれましては、EPOCで使用されていた「UMIN ID」「パスワード」と共通ですので、新規にご取得いただく必要はありません。

## ▶ ログインできない時は…

「UMIN ID」「パスワード」のどちらか、または両方を間違えて入力している可能性があります。

## ▶ UMIN ID

UMIN IDがご不明な場合は、下記まで電話、またはメールにてお問い合わせください。

◆附属病院分室… (内線:80-)3801

◆総合医療センター分室… (内線:81-)3151

◆Mail(部署アドレス)… [sotugori@hirakata.kmu.ac.jp](mailto:sotugori@hirakata.kmu.ac.jp)

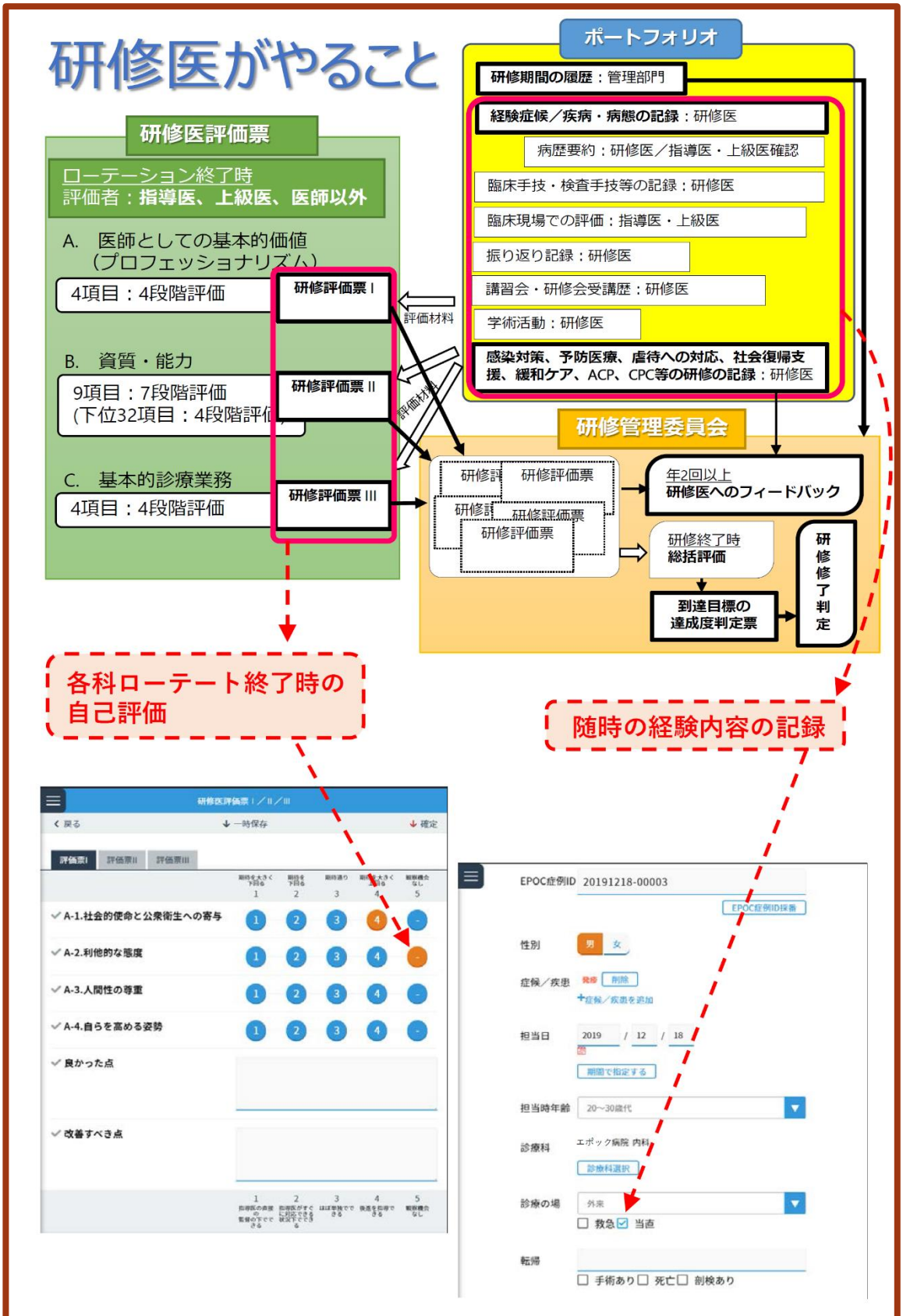
## ▶ パスワード

パスワードは当センターでは確認する権限がなく、再設定の代行等も承ることができません。

お手数ですが、下記URLより個人で再設定をお願いいたします。

◆URL… [https://www.umin.ac.jp/id/passwd/passwd\\_agree.htm](https://www.umin.ac.jp/id/passwd/passwd_agree.htm)

# EPOC2に入力する事項 【研修医】





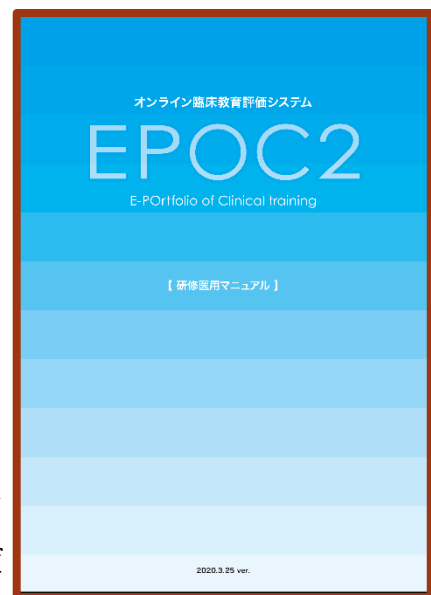


# 操作の詳細について

- ▶ 実際のEPOC2の操作に関しては、別マニュアルをご参照ください。
- ▶ 操作マニュアルは「研修医用」「指導医用」で別のものとなっておりますので、ご注意ください。
- ▶ EPOC2のHP上、または卒後臨床研修センターHP上でも、各種マニュアルを閲覧することができます。

・研修医用の操作マニュアル(青色)→

[https://epoc2.umin.ac.jp/content/pdf/EPOC2txtmanu\\_res0325.pdf](https://epoc2.umin.ac.jp/content/pdf/EPOC2txtmanu_res0325.pdf)



・指導医用の操作マニュアル(緑色)→

[https://epoc2.umin.ac.jp/content/pdf/EPOC2txtmanu\\_adv0325.pdf](https://epoc2.umin.ac.jp/content/pdf/EPOC2txtmanu_adv0325.pdf)



# その他お問い合わせ先

## ▶ その他ご不明な点

EPOC2のHPにて「よくある質問(FAQ)」が公開されています。  
そちらも一度ご確認ください。

◆FAQ… [https://epoc2.umin.ac.jp/faq\\_cat2-1.html#faq\\_st](https://epoc2.umin.ac.jp/faq_cat2-1.html#faq_st)

## ▶ お問い合わせ先: 卒後臨床研修センター

◆附属病院分室… (内線:80-)3801

◆総合医療センター分室… (内線:81-)3151

◆事務室開室時間… 平日9:00~17:10、勤務土曜日9:00~13:00

◆Mail(部署アドレス)… [sotugori@hirakata.kmu.ac.jp](mailto:sotugori@hirakata.kmu.ac.jp)

○本学所属者以外の方による本マニュアルの無断転載、使用は禁止します。  
(関西医科大学 卒後臨床研修センター)